

まちなか振興支援室 活動レポート No.1 (2014.12.19)

まちなか振興支援室の活動方針が確定



稚内北星学園大学 まちなか振興支援室

はじめに

稚内北星学園大学の「地(知)の拠点(COC)」事業のうち、中心市街地活性化に取り組む「まちなか振興支援室」では、このほどその活動方針を確定した。

基本方針

基本方針は以下の2点である。

①学生の地域学習・地域活動の展開・支援

学生たちが地域のなかで地域の人びとから学ぶ機会をつくり、地域のために地域の人びとと共に活動することを支援していく。

②“まちなか”と“まちそと”の好循環を生み出すシステムの開発

“まちそと”空間(稚内市外・郊外のリアルまたはバーチャル空間)のニーズやイメージ、記憶、噂などの情報を収集し、“まちなか”空間(中心市街地)へ効果的に提供することにより、“まちなか”の変化・創造を促していくシステムを構築する。さらに、“まちそと”情報を受けた“まちなか”空間の変革・創造の成果を発信し、“まちそと”空間の情報を変革することにより、実体的な人の循環を創出するシステムを構築する。

活動内容

以上の基本方針を受けた具体的な活動内容は以下の5点である。

- ① “まちなか”住民と学生との協働活動の支援(学生主体の「まちゼミ」コーディネート支援など)
- ② “まちそと”空間の調査・情報収集
- ③ “まちなか”空間(特に中央商店街)への情報提供のシステム化
- ④ “まちなか”から“まちそと”への情報発信支援およびそのシステム化
- ⑤ 市民のメディア技術活用に関する相談・支援

成果指標(5年後に目指す姿)

5年後に文部科学省補助事業としてのCOC事業完了時に目指す姿は以下の5点である。

- ① 学生たちが“まちなか”地域への意識を高め、主体的に活動を展開するようになってきていること
- ② “まちなか”の人びとが協同し、主体的に地域づくり活動を展開するようになってきていること
- ③ 学生と“まちなか”住民の協働活動が広く展開するようになってきていること
- ④ “まちなか”空間と“まちそと”空間の間の情報・人の循環が定着していること
- ⑤ 「まちなかメディアラボ」が本学の授業・主催事業以外にも、学生や市民の自発的な活動の場として日常的に使用されるようになってきていること

まちなかメディアラボの機能

最後に、まちなか振興支援室の活動拠点となる「まちなかメディアラボ(愛称:まちラボ)」の機能を以下の3点とし、そのイメージを下図に整理した。

- ① 中心市街地における学生たちの活動拠点
- ② 中心市街地に関する情報の受信・蓄積・発信の基地
- ③ 市民が集い、交流し、学びあう場

